

ひとよし 市議会だより

第119号

2024/令和6年2月1日 発行



～こども山の神祭り（大畑町）～

主な内容

② 12月定例会・臨時会報告

③～⑤ 委員会報告

⑥～⑨ 一般質問～市政を問う～

編集 議会報編集委員会

発行 人吉市議会

人吉市西間下町字永溝7-1

☎ 0966-22-2111 (代)

E-mail gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます

URL <https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/>

12月定例会報告

令和5年12月第6回定例会は11月27日から12月19日までの23日間開催しました。

令和5年度 一般会計補正予算
(補正後の総額は 249億6,659万2千円)

25億356万3千円
増額可決



審議された議案等の議決結果

番 号	件 名	議決結果	番 号	件 名	議決結果
議第73号	令和4年度 人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	原案可決及び認定	議第99号	令和5年度 人吉市工業用地造成事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議第74号	令和4年度 人吉市公共下水道事業特別会計決算の認定について	原案認定	議第100号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第86号	令和4年度 人吉市歳入歳出決算認定について	原案認定	議第101号	人吉市議会の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第87号	専決処分の承認を求めることについて(令和5年度 人吉市一般会計補正予算(第5号))	原案承認	議第102号	人吉市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第88号	令和5年度 人吉市一般会計補正予算(第6号)	原案可決	議第103号	人吉市学校給食費に関する条例の制定について	原案可決
議第89号	令和5年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第104号	人吉市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第90号	令和5年度 人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第105号	人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第91号	令和5年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第106号	人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第92号	令和5年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第107号	人吉市営単独住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第93号	令和5年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	議第108号	公の施設の指定管理者の指定について	原案可決
議第94号	令和5年度 人吉市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	議第109号	市道の認定について	原案可決
議第95号	令和5年度 人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第110号	令和5年度 人吉市一般会計補正予算(第8号)	原案可決
議第96号	令和5年度 人吉市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	議第111号	財産の取得について	原案可決
議第97号	令和5年度 人吉市水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決			
議第98号	令和5年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決			

…12月定例会 陳情等の議決結果…

付 託 委 員 会	件 名	議決結果
経済建設委員会	九日町・大工町の災害公営住宅の建設に関する陳情書	継続審査
総務文教委員会	村山公園内のテニスコートの壁打ち用施設の新設に関する陳情書	不採択

議員別表決

…「表決が割れた」議案とその議員別表決…

賛否が分かれたもののみを掲載しております。○:議案に対して賛成 ●:議案に対して反対 /:議長は表決に加わりません

議案番号	議案	川上紗智子	松村太	徳川禎郁	池田芳隆	牛塚孝浩	宮崎保	大塚則男	平田清吉	井上光浩	豊永貞夫	西信八郎	村上恵一	本村令斗	田中哲	福屋法晴	宮原将志	議決結果
議第86号	令和4年度 人吉市歳入歳出決算認定について	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	/	原案可決
議第111号	財産の取得について	●	○	○	●	○	欠	●	○	●	○	○	○	●	○	○	/	原案可決

12月臨時会報告

令和5年12月27日に臨時会が開催されました。補正予算は、物価高騰対策事業や道路補修工事に伴う交付金など、国の補正予算に伴うものです。条例改正は、法律や政令の改正に伴うものです。補正予算2件と、条例改正2件を原案可決しました。

審議された議案等の議決結果

議第112号	令和5年度 人吉市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	議第114号	人吉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第113号	令和5年度 人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	議第115号	人吉市空き家等対策の推進に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決

総務文教委員会報告

●委員長 松村 太 ●副委員長 池田 芳隆
●委員 川上 紗智子・平田 清吉・豊永 貞夫・宮原 将志

人吉市学校給食費に関する条例の制定を承認

令和6年4月からの給食費公会計化スタートに伴い、給食費の額、徴収方法等、給食費管理規定などを新たに制定するものです。委員から「公会計になることで一括の納付はできないのか」との質疑があり「初年度は期毎の口座振替を行い、一括納付は2年目以降検討していく」との答弁があります。

令和5年度一般会計補正予算（第7号）を承認

総務費の主なもの、予約型乗合タクシーに関する事業費、下田代線の追加や大野、矢岳線の実証運行に伴う運行補助金等の増です。企画費、公有財産購入費は、大柿地区移転団地造成に係る市道への取付け道路に関し、安全面や利便性の高い用地購入費の増等です。

教育費では学校環境整備用備品として、充電式刈払い機などの購入費用等。小学校費は、東間小学校駐車場のイチョウの木など伐採及び剪定を委託するものや市内各小学校の老朽化した複合遊具などを撤去する費用等。中学校費は、教育振興費で中体連出場派遣費及び文化関係出場費等補助金の補正など。保健体育費、川上球場サブグラウンド改修業務委託料は、仮設住宅の撤去及び整地後のサブグラウンドにおける芝張り等です。東

間小学校遊具撤去、イチョウ伐採。人吉城跡復旧工事は現地視察を行っています。



撤去される複合遊具（東間小学校）

村山公園内のテニスコートの壁打ち用施設の新設に関する陳情を不採択

陳情の内容は、村山公園内のテニスコートの壁打ち用施設が耐震基準を満たしておらず改修されましたが、壁打ち用施設は大会の際の調整や日頃の練習用として必要な施設で新設を求めるものです。委員から「土のテニスコートの改修を要望される声が多いということで、そちらを優先すべき」「仮に壁打ち用の施設が必要となった場合は、テニスだけではなくサッカーや野球など幅広いスポーツに対応できるようにしたほうがいい」などの意見が出ました。挙手採決の結果、賛成者はなく不採択とすることに決しました。

行政視察

日 程：令和5年10月17日（火）～19日（木）

視察先：岡山県津山市

項 目：コミュニティバスについて

内 容： 津山市では、平成13年からコミュニティバス「ごんごバス」を運営されて、路線の再編、拡充、運行ダイヤの改善などされ、利便性を向上されています。本市においても平成22年からコミュニティバス「まめバス」を運行し、交通機関の空白地域と中心部をつなげる役割を担っておりますが、日時や便数など運行状況の周知不足、見直しなど課題があります。津山市の運営の変遷を学び、本市の「まめバス」利用向上につなげることが目的です。

まとめ： 津山市では平成17年の市町村合併により市域が広がり、移動制約者の生活圏拡大と市街地活性化を主眼とされてきたことが、本市の実情と重なります。福祉的視点も取り入れたニーズの把握、乗り方教室など利用促進策や、キャッシュレス決済化などの整備と合わせ、運行形態の見直しは本市の「まめバス」の利活用向上に急務であり必須で、その改善を継続して検証していくことで市民の利便性向上に寄与できると考えます。

視察先：兵庫県小野市

項 目：「夢と希望の教育」小野市独自の教育理念と実践について

内 容： 小野市では、少子高齢化、高度情報化などの急激な社会情勢の変化の中で「未来を切り開く原動力は人づくり、すなわち教育である」との理念の基、平成17年に東北大学教授の川島隆太氏を小野市教育行政顧問に迎えられました。「脳の司令塔である前頭前野を鍛えることは生きる力を育み、心の教育につながる」と提唱されています。本市教育振興基本計画の趣旨「将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人間力（人として生きる力）を育み、心身ともに健康で豊かな人生を送れる生涯学習社会を目指す」本市教育行政にも、小野市独自の取組から学ぶことが数多くありました。

まとめ： まずは読み聞かせなど実践中のものから、目的や効果などを保護者と共通理解して、協力度を上げることは本市でも可能ではないかと感じました。幼稚園・保育園から小中学校へのスムーズな連携ができており、妊娠期から中学3年生までを一括所管することも家庭庁の考え方と一致した施策でした。多くのデータに基づき提唱される教育施策も多く、具体化して見える化しています。脳科学に基づき、平成17年から一貫して教育のルーティンを見直し、実践し、時には廃止するなど全市的に徹底した改革を進めている推進力は学ぶべきだと感じました。

条例改正の3件を承認

「人吉市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について」は、デジタル庁及び総務省において、スマートフォン用電子証明書に対応したコンビニエンスストアにおける印鑑証明書交付サービスが開始されることに伴い、条例の一部を改正するものです。

「人吉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例の制定について」は、国から変更の通達があったことから、令和6年1月1日から施行する条例の一部を改正するものです。

「人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について」は、運営に関する基準（平成26年内閣府令第39号）の改正に伴うものです。

令和5年度一般会計補正予算を承認

市民部の主なものは、令和6年度から始まる森林環境税に伴うシステム改修委託料、マイナンバーカードのローマ字表記、戸籍事務へのマイナンバー制度導入に伴うシステム改修委託料等の増額です。

健康福祉部の主なものは、低所得世帯に対する1世帯あたり7万円の物価高騰対応重点支援給付金や、障害福祉サービスにおける就労継続支援、共同生活援助（グループホーム）

の利用等の増加や、ひまわり保育園の新築移転に伴う就学前教育・保育施設整備交付金事業補助金や、子宮頸がんワクチン及びインフルエンザワクチン接種委託に伴う増額補正です。審査の過程で委員から「不妊治療助成金は年齢や回数に制限があるのか」との質疑に対し、「初めて治療開始をされる方の年齢で助成の回数が決まる。40歳未満の方は1回の妊娠に対し通算6回まで。40歳から43歳未満の方は、1回の妊娠に対し、通算3回まで」との答弁がありました。



現地視察：ひまわり保育園

特別会計補正予算4件を承認

主なものとして、「国民健康保険事業」は、国民健康保険税賦課方式変更に伴うシステム改修に伴うものです。「介護保険」は、介護保険制度改正に係るシステム改修委託料の増や、地域支援事業費の人件費の補正によるものです。「水道事業」は、漏水事故対応が増えたことによる増額や、落雷の被害を受けた蓬菜配水池の電気計装設備の取替によるものです。「公共下水道事業」は、紺屋町地区污水管渠布設替等実施設計業務委託に伴うものです。

行政視察

日程：令和5年11月14日（火）～11月16日（木）

視察先：岡山県瀬戸内市

項目：「空き家対策」について

内容：瀬戸内市では、地域や空き家情報の整理、提供など、移住を検討する方を支援する住民団体に「IJUコンシェルジュ」を委嘱する制度があり、地域コミュニティ活動の一環として、移住者を円滑に受け入れるための空き家の確保と利活用についての環境整備を実施されています。瀬戸内市移住交流促進協議会とも連携し、移住相談等をワンストップで対応されています。

まとめ：地域の方がボランティアで行っているIJUコンシェルジュを中心とした移住交流促進協議会の体制が成功した事例で、交通が不便な地区の物件の残置物撤去や、移住希望者に対し細やかな対応がされており、本市においても不動産業界等、民間とも連携し独自のやり方を検討する必要があると感じました。

視察先：兵庫県朝来市

項目：AIによる水道管劣化診断について

内容：管路の更新について、これまでの漏水が発生してから行う事後保全から、AIによる管路劣化診断を実施し、効率的な予防保全としての管路更新事業を実施されています。また、AIによる劣化診断結果を市内で共有することで、管路更新と道路美化計画の調整が可能となり、美化化に伴う工事費が削減できる見込みということでした。

まとめ：AIの導入、利用は時代の流れであり、本市においても、AI導入に向け検討の必要性を感じました。またAIの劣化診断の結果を全庁的に共有し、市内の道路部局と連携を図ることで、道路舗装に係る予算を削減することや、職員が優先順位をつけるのではなくAIによる判定で優先順位を決定するというのは市民の皆様にも説明しやすく非常に画期的であると感じました。



兵庫県朝来市
「AIを活用した水道管劣化診断」

経済建設委員会報告

●委員長 宮崎 保 ●副委員長 牛塚 孝浩
●委員 大塚 則男・本村 令斗・田中 哲

人吉市営単独住宅条例の一部改正を承認

令和2年7月豪雨災害に係る応急仮設住宅の、西間第1・第2・第3、下原田第1・第2、あやめ広場の住宅が熊本県から人吉市へ無償譲渡されることによるものです。

公の施設の指定管理者の指定を承認

人吉市まち・ひと・しごと総合交流館「くまりば」を、一般社団法人ドットリバーへ令和6年4月1日から令和9年3月31日まで、指定管理者へ指定するものです。

市道の認定を承認

上青井下青井線、下青井宝来線、青井地内第14号線から青井地内第21号線の10路線を認定するものです。



新たに市道として認定される
青井地内第17号線

財産の取得を否決

人吉市災害公営住宅（東校区地区）及び附帯工作物で、予定価格は、10億8,040万9千円。契約の相手方は株式会社京成不動産です。採決では可否同数のため、委員長採決により否決となりました。

令和5年度一般会計補正予算(第5号)を承認

10月11日付で熊本県から追加分の通知があり、今年度内に事業を終わらせる必要があることから、専決処分されたもので、令和5年10月から実施している「ひとよし地域応援クーポン券」事業に新たに一人当たり4,000円を追加するものです。

令和5年度一般会計補正予算(第7号)を承認

主なものは、田野活性化センタートイレ改修工事152万6,000円。蟹作地区水路蓋設置・大畑地区水路土砂撤去業務委託料198万9,000円。県営上原田地区土地改良事業負担金1,365万円。道の駅支援寄附金を活用し、ポータブル発電機、バルーン投光器などの備品購入費218万円。過年災農地等災害復旧工事で、七地地区で補助対象外となり復旧できなかった施設等を単独事業として施工する3,650万円。避難路整備に伴う「瓦屋4号橋及び下矢黒橋」の橋梁設計委託料4,250万円。西瀬団地給水設備改修工事設計委託料250万円。あやめ広場仮設団地及び西間第一仮設団地の外壁・建具改修、スロープ設置等1億5,180万円。石野公園のり面排水測量設計委託料362万3,000円などです。

復興・安全まちづくりに関する特別委員会

●委員長 牛塚 孝浩 ●副委員長 平田 清吉 ●委員 全議員

復興・安全まちづくりに関する特別委員会第4回は、令和5年11月28日（火）に開催し、審議事項1では、相良町災害公営住宅に移動し現地視察を実施しました。団地全体の配置や集会場、住居者数に応じた各部屋の内覧を行い、執行部より説明を受けました。

委員から、「駐車場のアスファルトは吸水性があるのか」「来客用の駐車場の数や、子供用遊具の設置は考えているのか」などの質疑があり、執行部から「アスファルトの吸水性はない」「来客駐車場は障がい者用の3台分を含め7台分を確保している。子供用遊具の設置は考えていない」との答弁がっております。

帰庁後、審議事項2の人吉市復興計画及び人吉市復興まちづくり計画に基づく取組状況については、復興支援課より変更点及び追記箇所についての報告がありました。審議事項3の人吉市復興まちづくり計画の進捗について、青井地区・中心市街地地区については、市街地復興課より説明を受け、委員から、「山田川左岸の道路拡張が6.5mから6.0mになった理由について、右岸の芳野旅館側の道幅は現在のままなのか」の質疑に対し、執行部から、「0.5m分はガードレール分

としての道路区域が、河川区域となった為であり、道幅の変更はない。右岸側は現在の4.0mのままである」との答弁がありました。また、「西側から東側に低くなる事業区域はどんな計画になるのか」「新温泉についてはどうなるのか」などの質疑に対し、「東側へ向かっては、区画道路等を整備して、宅地の地盤はそれより高くなるように設計する」「新温泉については、文化庁とも協議中である」との答弁がっております。

審議事項4の避難路整備の進捗については、道路河川課より、整備対象箇所数や路線数、優先度によって3期までの計画がある事の説明を受け、委員から、「優先度が3期目の道路でも危険な所は早くできないか」との質疑に対し、「令和6年3月までに見直しをかけ優先順位を上げていきたい」との答弁がっております。



相良町災害公営住宅



一般質問
通告書は
こちらから

各議員の項目にあるQRコードをスマートフォン等の専用アプリで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧いただけます。

QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

一般質問 ～市政の内容を問う～

Aー(人工知能)の活用について



村上 恵一



動画視聴

問

全国の自治体では、保育所入所選考の自動化、ケアプラン作成、リアルタイム議事録、水道の漏水箇所の検知など、業務への生成Aー(人工知能)導入が進んでいる。課題もあるが、業務改善と効率化に大きく寄与するはず。今後導入に踏み切るべきではないか。

答

今年度に民間事業者と導入を検討中。具体的には、保健師が非常に多くの時間を要する健診結果の分析などに活用することで保健師業務のDX化と効率化を図り、増加する医療費の抑制と、市民の皆様への対応時間確保を目指すことになる。他にも勉強会を通じて、最善のタイミングで導入できるように、調査研究を進めたい。

※その他、所有者不明の土地問題についても質問しました。

戦没者慰霊碑・校庭の危険なくぎ 外



田中 哲



動画視聴

問

高台にあり参拝が困難な、人吉城跡の忠霊塔の平地への移転、及び管理が行き届かず、崩壊の危険性がある校区の慰霊碑の整理・統合について、人吉市遺族会からの要望にどう対処するのか。

答

忠霊塔については、遺族会から意見をいただきながら関係各課で対応を検討したい。校区の慰霊碑については、遺族会と協議の上、方針を固めることが大切と考える。校庭の地中に埋まっているくぎで、児童が怪我をする事故が各地で起きている。本市での対策は。

答

目視で困難な地中に埋まっているくぎは、金属探知機を導入して、確実に調査をしていきたい。

問

市交通指導員と人吉地区交通安全協会との統合については。

答

現在、事務局レベルで協議中。

関係機関との連携によるまちづくり



池田 芳隆



動画視聴

問

J R肥薩線再生協議会で、地元はどのようにまとまったのか。

答

地元市町村がJ R肥薩線の復旧、さらには将来的な存続に向け、広域かつ主体的に取り組むことを前提に、県から市町村負担の軽減となる支援策の説明があり、費用負担の方向性の確認をした。

問

人吉・吉松間の復旧はどのようなになっているのか。

答

八代・人吉間の復旧の方向性が決まった後に、人吉・吉松間の協議が行われていくと考えている。

問

市長は、どのような考えを持って復旧に取り組むのか。

答

J R肥薩線復旧なしに、人吉市全域の復旧はあり得ない。最大の受益者としての覚悟を持ち、県、地元自治体と連携し、本市の責務を果たしていく。

プロポーザル方式に おける情報公開



本村 令斗



動画視聴

問

東校区の災害公営住宅の住民説明会で問題になった「プロポーザル方式」について、インターネット上のニュースでは「委託する相手方を最初から決めて選定を進められる」としたものもある。令和4年度は、14件の事業がプロポーザル方式で業者選定されているが、松岡市政になってからの推移は。

答

平成27年度が7件、28年度が8件、29年度が7件、30年度が11件、令和元年度が10件、2年度が4件、3年度が12件。本年度は、これまでに14件、今後の予定が4件。

問

市民からの信頼を得るために、プロポーザル方式における情報公開を進めるべきではないか。

答

他市も参考にしながら、プロポーザルの実施に関する指針についても必要となれば改正する。

地域公共交通施策と 町内合併について



牛塚 孝浩



動画視聴

問

人吉市地域公共交通計画に関連し、交通弱者対策として政府が議論をはじめた、ライドシェアについて、本市の見解は。

答

一般ドライバーが個人として、有料で乗客を乗せることと認識しており、導入については慎重に検討していくべきと考える。

問

昨上年原田6町内は、今後を見越して合併する決議をされた。進め方のアドバイスはないか。

答

地域と一緒にやって情報提供や助言を行い、様々な課題を取りまとめてマニュアルの整備を進める。

問

円滑な町内会活動が実施されるまで、暫くは財政支援が必要であるが可能か。それは概ね何年か。

答

どのような支援が必要でどのような手段が有効か等、年数も含め、市全体で議論を加速させたい。

子ども議会と みどりの少年団について



豊永 貞夫



動画視聴

問

これまで実施された「子ども議会」での要望や、提言の取り扱いはどうされているのか。また、実現した提案などは学校へ報告されているのか。

答

頂いたご意見については、担当部署で事業化の実現性や、費用対効果など総合的に勘案して対応している。実現した提案は学校へ報告をしていなかったもので、今後は報告をしていきたいと考えている。

問

平成30年に解散した「みどりの少年団」を、平成31年に新たな「人吉市みどりの少年団」として新設するとの新聞報道がされていたが、新設についての考えは。

答

令和6年を準備期間とし、令和7年度以降に設立に向け進めたい。

※他、認知症患者の賠償責任を補償する認知症保険について質した。



高齢者支援及び

人吉市図書館について



徳川 禎郁



動画視聴

問 介護予防サポーター、脳いきいきサポーターの地域での役割、今後の位置づけの本市の考えは。

答 地域に暮らす高齢者の支援者と考えている。今後も介護予防活動を広げ、自立した生活ができる高齢者が増えることを期待している。

問 シニアいきいき講座閉講後の受け皿と本市の支援の方法は。

答 校区公民館講座への受入れや、自主サークルとして活動継続の検討、活動場所に関する情報提供や、会場の申請方法等、支援していく。

問 読書バリアフリー計画策定の予定は。また、超高齢社会における図書館の役割をどう考えるか。

答 令和6年度策定予定の読書バリアフリー計画に、超高齢社会にも対応したサービスをしっかりと位置づけ、対応していきたい。

緊急の治水対策、

カルチャーパレスについて



川上 紗智子



動画視聴

問 河道断面積を少なくしている中川原公園を完全撤去した場合の検証を、国に求めるべきでは。

答 熊本大学の協力を得て4つの案について検証している。これ以上国に要望していく考えはない。

問 カルチャーパレスの大ホールについては、6月議会で陳情が趣旨採択されたが、つり天井の改修を行い一日も早く利用できるようにすべきではないか。

答 改修を行わなければ施設が使用できなくなる等優先度を鑑み進めていくことになる。大ホールの利用再開は、特定天井以外にも各種設備の改修等が必要。大ホールのネット施工による天井落下防止の改修も含めてどこまで手を入れ施設の長寿化を図るか、早期の建て替えを目指すのか、判断をしたい。

人吉市復興計画・

避難路整備について 外



松村 太



動画視聴

問 人吉市復興計画の地域コミュニティ再構築に向けた支援の進捗は。

答 令和6年1月からは相良地区災害公営住宅への入居が始まるので、公営住宅自治組織と地元町内会とのコミュニティ形成を支援し、地域での孤立等防止につなげたい。

問 地元町内でのコミュニティ構築が急務だがどう考えているのか。

答 コロナ禍が終わり4年振りに各校区運動会や夏祭りが復活してきた。人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることが地域共生社会実現に向けて第一歩である。

問 災害避難行動時にどうやって正常性バイアスを打破していくのか。

答 地域における危険箇所の情報を地域住民が共有し、災害時の状況を予見することが必要。

※その他市有墓地の状況を質した。

コンパクトシティ
構想について 外



井上 光浩
動画視聴

- 問

これまでのコンパクトシティ構想の進捗状況は。
- 答

「中心市街地を核に、コンパクトにまとめた市街地の形成」といった土地利用の基本方針を掲げ、快適な市街環境を実現するために都市基盤整備に取り組んできた。
- 問

小学校・中学校の統合計画等もコンパクトシティ構想に含むのか。
- 答

小学校・中学校の統廃合は、現時点で検討していない。
- 問

令和6年2月から9月にかけて実証運行する矢岳町、大野町地区と市中心部を結ぶ予約型乗合タクシーの事業内容は。
- 答

運行日は、月水金の週3日。上りが5便、下りが4便、合計9便運行し、他の路線と同様、距離に応じた料金設定となっており、最大730円の利用料金となる予定。

令和4年度 歳入歳出決算を認定

令和4年度決算を審査するために、令和5年9月定例会で決算特別委員会を設置し、継続審査となりましたが、その後閉会中を含め4回にわたり慎重に審査を行いました。

11月27日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、歳入歳出決算については賛成多数で認定されました。

同特別委員会では市に対し、4つの個別の指摘・要望事項とあわせて、今後の財政運営に当たっては、人吉市復興まちづくり計画を核として被災者に寄り添った災害復旧から復興事業への取組に努めながら、引き続き行財政運営全般にわたる改革を推進するとともに、財政状況をより正確に把握・分析し、歳入の最大限の確保及び、歳出全般にわたる徹底した見直しによる歳出総額の抑制と、集中と選択による重点化を進め、効率的で持続可能な財政運営を行われるよう要望しました。

	歳入総額	歳出総額
一般会計	228 億 4,064 万 2 千円	217 億 340 万 2 千円
特別会計（水道・下水道を除く）	95 億 5,135 万 6 千円	88 億 590 万 3 千円
合 計	323 億 9,199 万 8 千円	305 億 930 万 5 千円



令和4年度 水道事業特別会計利益の処分及び決算・
公共下水道事業特別会計決算を可決及び認定

令和4年度水道事業特別会計利益の処分及び決算・公共下水道事業特別会計決算を審査するために、令和5年9月定例会で厚生委員会に付託され継続審査となりましたが、その後閉会中に3回にわたり慎重に審査を行いました。

11月27日の本会議において、委員長から審査の経過及び結果についての報告を行い、利益の処分及び決算については、全会一致で可決及び認定されました。

厚生委員会では、今後の水道事業の経営について、3つの個別の要望事項とあわせて、引き続き公営企業の原則である経済性と公共の福祉増進に沿って経営の効率化、健全財政及び収益性の向上を推進されることはもちろんのこと、本市の将来を見据えた計画的で確実な事業の実施、さらには大規模災害を視野に入れた危機管理能力に優れた組織・体制づくりの構築に努め、将来にわたって低廉で清浄かつ豊富な水の安定供給ができるように要望しました。

また、今後の公共下水道事業の経営について、3つの個別の要望事項とあわせて、「人吉市下水道事業経営戦略」「ストックマネジメント計画」に基づき施設等の維持管理に努めるとともに、経営の効率化、健全化の推進、収益性の向上を図りつつ、持続可能な事業運営に努められ、さらなる市民サービスの向上を図られるよう要望しました。



静岡県牧之原市から来訪



令和6年1月15日、友好都市である牧之原市から村田博英議長、杉本基久雄市長をはじめ総勢20名で本市を表敬訪問されました。

牧之原市とは、合併前の旧相良町時代から友好都市として交流を進めています。令和2年7月豪雨の際も職員の派遣や義援金など様々な支援をいただきました。

今回は全市議会議員の皆様がお見えになり、市庁舎の防災機能や議場について説明を受け、本市と牧之原市をつなぐ相良氏に関連する人吉城歴史館（閉館中）や、相良町の災害公営住宅を視察されました。



歓迎式



市庁舎の防災機能



閉館中の人吉城歴史館



相良町災害公営住宅の集会所

議員研修会を開催しました

令和5年11月6日に市庁舎議場におきまして研修会を開催しました。

午前の部では、熊本大学大学院人文科学研究部教授の伊藤洋典氏を講師にお迎えし、一般質問をテーマに、これからの地方議会の課題も交えながらご講演いただきました。

午後の部では、特定社会保険労務士の杉山友香氏を講師にお迎えし、ハラスメント防止について、関係法令や事例を基にご講演いただきました。

研修の成果を、本市議会の活動に生かし、市民の皆さまにわかりやすい議会を目指してまいります。



一般質問研修



ハラスメント研修

編集後記

令和6年能登半島地震で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、犠牲になられた方々に謹んで哀悼の意を表します。

徐々に行事も開催されるようになり、人々の笑顔あふれる交流の機会が増えつつあることは地域の活力にもつながることと思います。

令和2年7月豪雨からの復興に向け、落ち着きを取り戻しつつありますが、未だ元の生活を取り戻すに至っていない方々がいらつしやるのも事実です。

人吉市議会も宮原将志議長を中心に本市の抱える難題に対応できるように努力してまいります。

議会だよりも内容の更なる充実に向け、編集委員会では協議を重ね、情報発信に努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。
(表紙写真・文責井上 光浩)

次の定例会は
3月の予定です

【議会報編集委員会】 委員長／宮原 将志 副委員長／福屋 法晴
委員／松村 太・池田 芳隆・井上 光浩・村上 恵一・本村 令斗・田中 哲